

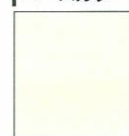
配色の基準

広島港の共通色および広島港のエリアカラーを14地区ごとに設定しています。

共通色

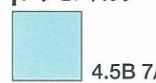
広島港全体のどのエリアでも調和し利用できる色であり、広島港のシンボリックな色でもあります。
利用については共通色のみでもよく、共通色とエリアカラーを組み合わせる利用も可能です。

ベースカラー



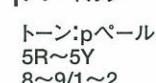
5Y 8.8~9.2/2

アクセントカラー



4.5B 7/4

アソートカラー



10R 10YR 10Y 10GY 10G 10BG 10B

	5R	10R	5YR	10YR	5Y
1					
1.5					
2					

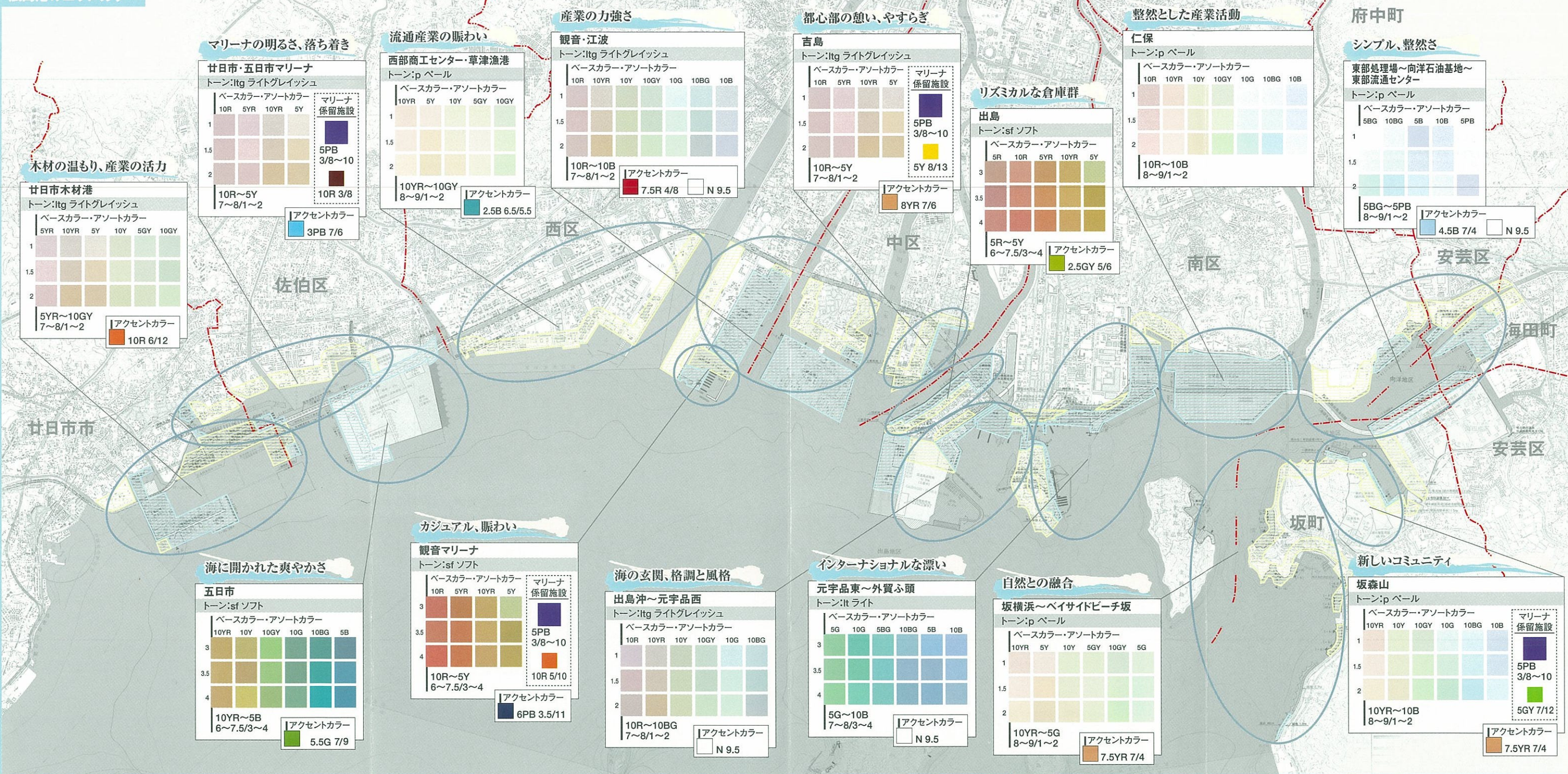
エリアカラー

広島港のエリアカラーは、各地区のイメージを表す色合いを設定しています。地区ごとに決めた範囲内の色を自由に使うことができます。

素材色と無彩色

素材色とは、素材そのものの持つ色合いを言い、石やレンガ、コンクリート、木材、ガラスなど素材色の尊重や、塗装だけでは表現出来ない素材の持つ独特の色合い、テクスチャー（材質感）等を活かすものとして、利用できる色合いとします。
また、白や灰色など色みのない無彩色についても使用できるものとします。

広島港のエリアカラー



配慮していただきたい事項

形態

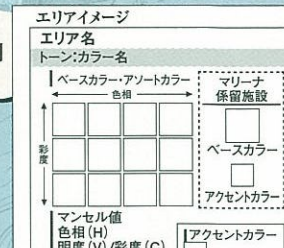
建築物等の景観への影響は色だけでなく、視界を遮る建築物や、広告物など、形態についての配慮も必要です。

緑の効果

植物の緑は、季節感があり自然を感じられ、心を和ませてくれるものです。
敷地周囲の僅かなスペースでも、緑化することにより建築物の印象も変わり、人工物とのバランスが図れ良好な景観となります。
景観は長い年月を経て形成されますので、まずは苗木からでも植樹していくことが有効です。



凡例



図中のベースカラーの明度は範囲中の中間値です。

対象範囲

- 臨港地区 (臨港地区内の無分区を除く)
- 臨港地区以外の地区 (臨港地区内の無分区を含む)
- エリア区分
- 市町境
- 区境

※印刷のため、実際の色と若干異なることがあります。